

3. COVID-19と糖尿病・肥満症

糖尿病内科医長

勝山 修行

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院糖尿病内分泌代謝内科

▼ Summary

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行初期から、COVID-19の重症患者では糖尿病や肥満の合併が多いことが報告され、その後の多くの疫学研究で糖尿病や肥満がCOVID-19の重症化リスクであること、血糖コントロール不良が重症化と関連することが明らかにされた。そのメカニズムは十分には解明されていないが、新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の細胞内への侵入、サイトカインストームや血栓形成といったCOVID-19重症化の過程に、糖尿病や肥満がかかわっている可能性がある。COVID-19の予後を改善する上でも、日常の血糖コントロールや肥満を改善する重要性が示唆される。

▼ Key Words

COVID-19, 重症化, 糖尿病, 肥満症

○ はじめに

2019年後半に、はじめて報告された病原体SARS-CoV-2による新型コロナウイルス感染症 (coronavirus disease 2019 ; COVID-19) のパンデミックは2021年末の時点でも終息の兆しがなく、ジョンズ・ホプキンス大学の集計によれば罹患者数はすでに3億人近くに達している。

一般に糖尿病は皮膚感染症や尿路感染症などさまざまな感染症の重症化と関連すると考えられており、COVID-19においても糖尿病や肥満が重症化リスク因子であることは医療関係者や患者に広く認識されている。しかし、糖尿病や肥満がCOVID-19の臨床経過にどのように影響するのか、という点についてはまだ不明な点が多い。本稿では、COVID-19と糖尿病・肥満との関連に

ついて概説する。

糖尿病・肥満とCOVID-19罹患リスク

中国からの報告では、COVID-19患者 (平均年齢49.6歳) の糖尿病有病率は10.3%であったのに対し、2013年に行われた一般住民の調査では糖尿病有病率は10.9%と同程度であった¹⁾。中国やアメリカなどの研究によるメタ解析でもCOVID-19患者は9.8%であり、一般住民の糖尿病有病率と大きな差はなかった²⁾。一方で、欧米からの報告を中心にCOVID-19患者では糖尿病有病率が高いとの報告も存在しており、現状では糖尿病がCOVID-19罹患のリスクになるか、という点については十分なデータがないと考えられる³⁾。